

ふくしま食・農再生戦略関連情報

知事と一緒に食と農の絆づくり!! ～第5回「大地の恵み感謝祭in相双」を開催～

地産地消強化期間中の11月15日(日)、南相馬市の道の駅「南相馬」やひがし生涯学習センターを会場として、「ふくしま食と農の絆づくり運動」の一環である『大地の恵み感謝祭in相双』が開催されました。

第5回目となる今年は、「ゆったりが、どっさり。実りの相双 まるかじり!!」をテーマに、「農林ウルトラクイズ」や「環境にやさしい農業の紹介」、「10m有機米手巻き寿司づくり」や「バウムクーヘンづくり」、「森のクラフト名人」や「米粉de簡単ケーキづくり」など、相双地方の農林水産業を紹介する地産地消&食育体験型コーナーが多数設置され、会場は約2,300名の来場者で大いに賑わいました。生産者による地元農林水産物や加工品の試食・販売も行われ、相双地方の美味しい食材に舌鼓を打っていました。また、相双地方の農林業を探検



10m有機米手巻き寿司体験の様子

する「農林業ミステリーツアー」も開催され、スペシャルゲストとして佐藤雄平県知事が登場。ブロックリーの収穫体験や10m有機米手巻き寿司体験に参加し、消費者や生産者と会食するなど参加者と交流をして食と農の絆を深めました。

(企画部)

稲刈り体験だ!! ～うつくしま田んぼの学校～

「うつくしま田んぼの学校」は富岡町立富岡第二小学校(3年生69人)の児童を対象に、10月13日(火)に稲刈りを実施しました。子どもたちが3人1組になり、稲刈り、束ねる、稲を掛けるの作業を順番に行いながら、地域の応援隊の協力を得て、子どもたちの掌より大きい株を丁寧に刈り取りました。

株は2～3株にまとめて藁で束ねて、背伸びしながらハセ掛けと棒掛けをし、次の脱穀までに天日干しにしました。台風18号の影響で1週間遅れの稲刈りとなりましたが、晴天のなか、歓声を上げ一生懸命に刈り取っていました。10月24日には学習発表会、10月31日には脱穀が行われ、11月30日には収穫祭を予定しています。

(農村整備部)



集落営農関連情報

一集落一農場を目指す 富岡町「大原地区」

富岡町の大原地区は、元々林野だったところを農業者達が開拓しましたが、土地が高台にあるため水不足が課題でした。昭和41年、ほ場整備を契機に水利保全管理団体「大原農事研究会」が設立され、それ以来、大原農事研究会は、地区の農家全戸が参加した地域農業に関する話し合いの場として機能するようになりました。平成18年、大原農事研究会は農用地利用改善団体として認定され、現在の集落営農推進の母体になっています。

平成20年には「大原生産組合」が設立され、一集落一農場の法人化を目指すべき生産組織として活動を開始しています。

現在大原地区では、環境保全型農業を柱に、大豆栽培など様々な先進的取組を行っており、地域のモデルとして今後の発展が期待されます。

(双葉農業普及所)



大豆共同防除(大原生産組合)



環境保全型農業への取組 (アイガモ農法)

地産地消関連情報

県産間伐材製の机・イス等の導入

飯館村立白石小学校では、平成20年度森林環境交付金事業(重点枠)を活用し、県産スギ材等により作られた生徒用机・イス80セット、教師用机6台ほかを導入しました。児童達は、イスを自分たちで組み立てたほか、木材の持つ優しさやあたたかさを通して、木材資源の有効活用の大切さや地球温暖化防止への効果等について自然な形で学んでいます。

今後は、県産スギ材羽目板による校舎壁面の内装木質化が進められる予定で、児童・教職員や地域の方々も木とふれあいながら過ごせる空間となることが期待されます。

飯館村内では、飯樋小学校でも机とイスが平成15年度に90セット導入されています。管内各市町村でも是非取り組まれるようお願いいたします。

(森林林業部)



兵(つわもの)紹介

地元産大豆を地域ぐるみで地産地消



南相馬市鹿島区にある特定農業団体「台田中生産組合」組合長の今野公夫さんを紹介し、今野組合長さんは、現在61歳。地域の農地と、人と人とのつながりを守るため、地域の農家と共に集落営農組織を平成20年4月に設立しました。

設立と同時に、地域内で遊休化していた畑を活用して大豆の生産を始めました。収穫された大豆は、「地元で採れたものは、地元で加工し、地元の人に食べてもらいたい」との思いから、地元で唯一豆腐製造を行っている「NPO法人あさがお・とうふ工房」に製造を依頼し、今年の4月に商品化に向けた試作品が完成しました。豆腐は、大豆を粉にして全てを豆腐にした「大豆まるごと豆腐」で、6月から木綿と絹ごしの2種類を注文販売しています。大豆まるごと豆腐は、滑らかな食感と濃厚な大豆の風味が特徴で、一般に販売されている豆腐とひと味違ったものに仕上がっています。「冷や奴」や「豆腐サラダ」などで、そのまま食べると違いが際立ちます。また、大豆が丸ごと入っているので食物繊維がとても豊富です。

昨年は、収穫できた大豆の量が少なく、組合員や、一部の地域のみ流通でしたが、今年の秋には多くの大豆が収穫される予定です。来年の春頃から、地産地消の今野組合長さんの想いのこもった豆腐が地元直売所等で販売される予定ですので、是非ご賞味ください。

(農業振興普及部)

おめでとうございます

第34回福島県林業祭が10月24・25日に林業研究センター(郡山市安積町)で開催され、これに併せて、「福島県林業コンクール」・「福島県きのこ品評会」等の表彰式が行われました。管内では、優れた技術が高く評価された下記の方々があめでたく受賞されました。

福島県知事賞

林業コンクール 造林技術部門 南相馬市 羽根田ヨシ さん

福島県森林組合連合会長賞

林業コンクール 枝打技術部門 富岡町 遠藤 則政 さん

林業コンクール 間伐技術部門 南相馬市 佐々木タカ さん

林野庁長官賞

きのこ品評会 生しいたけの部 南相馬市 舘尾恵美子 さん

きのこ品評会 乾しいたけの部 南相馬市 佐藤 重信 さん

福島県きのこ振興協議会長賞

きのこ品評会 生しいたけの部(原木栽培部門) 南相馬市 佐藤 重信 さん

また、林業祭関連行事として「福島県チェーンソー選手権」が開催され、管内からは相馬地方森林組合と千葉製材所から各1チーム(1チーム3名)が参加されました。県内の林業作業員全8チームが、ソーチェーンの付け替え(装着の早さと正確さを判定)、合わせ玉伐り(最初に丸太の下から、続いて上から切り合わせて、早さと接合差を判定)、精密玉伐り(丸太を上から切って早さと垂直度合い等を判定)、枝払い(30本の枝を切る早さと正確さを判定)の4競技で自慢の腕を競い合った結果、下記のとおり優秀な成績を収められました。(森林林業部)

個人総合	1位	四釜 誠 さん(千葉製材所)
	2位	堀江 秋義 さん(千葉製材所)
	4位	佐藤 慈良 さん(相馬地方森林組合)
団体	優勝	千葉製材所

みんなで森林のことを考えてみませんか... 森林環境ゼミナール参加者募集!!

おしらせ

森林環境税を活用した県民一人一人が参加する新たな森林づくりを推進するため、森林づくりボランティア等に携わるうえで必要な森林・林業に関する知識を学ぶ機会として「森林環境ゼミナール」を開催します。(森林林業部)

日時: 12月19日(土) 10時~

場所: 双葉地方森林組合(富岡町小良ヶ浜字市ノ沢95-1)

内容: 森林教室 木工クラフト

問い合わせ: 双葉地方森林組合 電話 0240-22-1311 FAX 0240-22-5393

コラム 下着の話

農村整備部長
持館 孝悦

南相馬市原町区西町にあった「福島県高の倉用水改良事務所」が私の県職員としての初任地でした。昭和48年のことでした。

県営かんがい排水事業による農業用ダム(コンクリート重力式)のコンクリート打設が最盛期の時期であり、所長、ダム係長、水路係長、用地係長以下11名の活気ある、かつ和気あいあいの職場でした。

所長から色々なことを教えて頂いたが、忘れられないことはダムの現場へ行く時は下着はきれいな物を着ていくようにと言うことでした。

ダムの現場ですから、現場監督の場所に行くためには何段もつないだぐらするハシゴの上り下りや型枠の上を歩く必要があり、更には早朝や深夜の時間帯にもコンクリート打設は実施されていました。

まあそういったも発注者の現場監督さんはそんなに

危険な場面に遭遇することは無いだろうとたかをくくっていたのですが、ある日それが間違いであることを思い知らされることになったのです。

ダム本体に使用されるコンクリートはバッチャープラントで製造され、ダムの上に張られたケーブルをバケットに運搬されて打設現場に運ばれます。

通常は打設現場が見渡せるような高い場所で現場をしますが、その日はたまたま打設現場(低い場所)にいました。

ピュンと音がして、ケーブルのワイヤーが切れいつもなら打設の場所にとまるバケットがあらぬ方向へ行って止まりました。

もしいつもの場所なら首が2kmも飛んでいったかも知れないことを後で聞かされました。

この時初めて「きれいな下着」の意味がわかったような気がしました。



ふくしま食と農の絆つくり運動

ご意見・ご感想・PRしたい情報などをお寄せ下さい。

福島県相双農林事務所 企画部

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地

TEL:0244-26-1153 FAX:0244-26-1181

ホームページアドレス <http://www.pref.fukushima.jp/norin-sousou/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。